

本研究会の開催について

1. 本研究会の趣旨について

- 経済産業省では、2007年に「新日本様式」を立ちあげ、日本の「伝統」と「先端技術」を融合させた「新しい日本らしさ」を持つ日本の様式を100選定したところ。
- 主なコンセプトは3点。
 - 「たくみのところ」(素材の良さを活かしつつ、新しい技術や文化を創り出す)
 - 「もてなしのところ」(様々な考えや新しいもの(多様性)を尊重し、さらに自己を確立し、両者を調和させる)、
 - 「ふるまいのところ」(責任意識を持ちながら、個性を磨き、気品と気概を重んじる)
- 「新日本様式」の立ち上げから、約10年が経過したことを踏まえ、改めて海外に打ち出すべき日本の価値観を捉え直す必要がある。
- 今後、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界から日本への注目度が高まっていく中、さらなる外国人旅行者数の増加が見込まれており、外国人に日本の魅力を分かりやすく伝えるためにも、新しい日本らしさを再定義し、発信していくことが求められている。
- さらに、第4次産業革命のインパクトとして、急速な技術革新により、新たに大量のデータの取得・分析・実行が可能となり、ものづくり現場においても顧客側の潜在的なニーズを探り当て、顧客の価値観に合わせた「ことづくり」にシフトしている。ものの背景にあるストーリーに共感して、消費行動が生まれるという感性価値が重要視される時代が到来している。
- そのため、顧客の求める価値を反映させるという視点から、従来よりも一層海外ユーザーの視点が重要性を増しており“海外”からも共感できる新しい日本らしさを再検討する必要がある。
- こうした問題意識に基づき、日本のものづくりやサービスを支える日本らしい伝統的な価値観に裏打ちされた「TheWonder500」認定商材を題材として、これらから導かれる地域の伝統や生活文化に根ざしたストーリーをコンセプト

トブックとして編纂する。また、研究会と並行して、海外でのアンケート調査や外国人留学生を対象としたワークショップの実施を通じ、海外の視点からのストーリーの追加・深化を行い、海外の方が共感できるコンセプトを再構築するものとした。

2. 議事等の公開について

本研究会及び配付資料等の公開については、以下の通りとする。

(1) 研究会

原則として公開する。

(2) 議事録及び配付資料

議事概要については、事務局の責任において公開する。

配付資料の取扱いについては、資料の内容を踏まえ、事務局が座長及び資料提出者と相談して対応を決定する。

※ご留意事項

- ・ 正確な議事の把握・記録を目的として、当日のご発言内容につきまして、録音をさせていただきます。予めご了承下さい。
- ・ 報告書への記載を目的として、写真撮影をさせていただきます。併せてご了承下さい。

以上